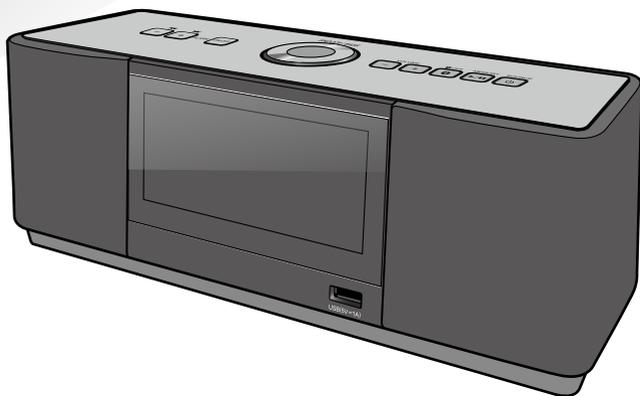


SEIKO

クオーツ マルチサウンドクロック

取扱説明書



App Store

からダウンロード



Google Play

で手に入れよう



Bluetooth®

このたびはセイコークロック商品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い
申し上げます。

なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

FSS-001P

目次

安全のために.....	3
警告表示の意味.....	3
使用上のご注意.....	6
商標について.....	6
準備する.....	7
付属品を確認する.....	7
各部の名前と機能.....	7
液晶表示について.....	9
電池を入れる.....	10
接続する.....	10
時刻を設定する.....	11
本機で設定する.....	11
スマートフォンを使って設定する.....	12
音楽を聴く.....	14
ワイヤレスで再生する.....	14
Bluetooth で接続する.....	14
Bluetooth で接続する (NFC 接続).....	15
Bluetooth 機器の音楽を再生する.....	16
USB メモリの音楽を再生する.....	16
ラジオを聴く.....	17
ラジオを鳴らす.....	17
FM 局を登録する.....	17
登録した FM 局を呼び出す.....	17
快眠アシストモードにする.....	18
オリジナルサウンドを再生する.....	18
アラーム.....	19
アラームを設定する.....	19
アラーム音の設定.....	19
設定時刻になったら.....	20
アラームを完全に止める.....	20
約 5 分後に再度アラームを鳴らす (スヌーズ機能).....	20

その他の機能	21
スリープ機能.....	21
USB 充電機能.....	21
明るさ調整機能.....	21
BASS モード.....	21
表示切替機能.....	21
付録	22
トラブルシューティング.....	22
誤動作が起こったときは.....	23
工場出荷状態に初期化する (リセット).....	23
Bluetooth 機器について.....	23
機器認定について.....	23
周波数について.....	23
Bluetooth 無線技術について.....	24
Bluetooth 機能の対応バージョンとプロファイル.....	24
通信有効範囲.....	24
他機器からの影響.....	24
他機器への影響.....	25
ご注意.....	25
主な仕様.....	26
時計部.....	26
スピーカー部.....	26
アンプ部.....	26
チューナー部.....	26
Bluetooth 部.....	26
USB (MP3 / WMA).....	27
その他.....	27
保証とアフターサービス.....	28

安全のために

本製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることもあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に一度は、ACアダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本機やACアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはお客様相談室に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① ACアダプターをコンセントから抜く
- ② お客様相談室またはお買い上げ店に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。
 警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



接触禁止



ぬれ手禁止



分解禁止

行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く

⚠ 危険



火災



感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電・発熱・発火により死亡やけがの原因となります。



禁止

付属以外の AC アダプターを使わない
家庭用電源で使用するとき、必ず付属
の AC アダプターを使用してください。
破裂や過熱などにより、火災やけが、
周囲の汚損の原因となります。



禁止

火の中に入れてない



分解禁止

分解しない
故障や感電の原因となります。充電式
電池の交換、内部の点検および修理は
お客様相談室またはお買い上げ店にご
依頼ください。



禁止

火のそばや炎天下などで充電したり、
放置しない

⚠ 警告



火災



感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電・発熱・発火により死亡やけがの原因となります。



禁止

内部に水や異物を入れない
火災や感電の危険をさけるために、AC
アダプターを水のかかる場所や湿気
のある場所では使用しないでください。
また、AC アダプターの上に花瓶などの水
のいったものを置かないでください。本
機の上に、例えば火のついたローソク
のような、火災源を置かないでください。
万一、水や異物が入ったときは、すぐ
に使用を中止し、お買い上げ店または
お客様相談室にご相談ください。



禁止

本機背面の端子に異物を入れない
端子などがショートして、誤動作や故
障の原因となることがあります。



接触禁止

雷が鳴りだしたら、AC アダプターに
触れない
感電の原因となります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で AC アダプターにさわらな
い
感電の原因となることがあります。



禁止

本体や AC アダプターを布団などでお
おった状態で使わない
熱がこもってケースが変形したり、火
災の原因となることがあります。



指示

AC アダプターは抜き差ししやすいコ
ンセントに接続する
AC アダプターは容易に手が届くよう
な電源コンセントに接続し、異常が生
じた場合は速やかにコンセントから抜
いてください。
コンセントから抜かないと完全に電源
から切り離せません。



禁止

自然放熱を妨げない
布をかけたり、毛足の長いじゅうたん
や布団の上または本棚や組み込み式
キャビネットのような通気が妨げられ
る狭いところに設置しないでください。
壁や家具に密接して置いて、自然
放熱の妨げになるようなことはしな
いでください。過熱して火災や感電の原
因となることがあります。



禁止

バックアップ電池を誤って交換すると
破裂する恐れがあります。
必ず同型の新電池と交換してくださ
い。

⚠ 注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周
辺の**家財に損害**を与えたりすることがありま
す。



禁止

はじめから音量を上げすぎない
突然大きな音が出て耳をいためること
があります。音量は徐々に上げましょ
う。



禁止

特定の状況下では、ワイヤレス機能を使用しない

本機はワイヤレス機能を内蔵しています。以下の点に注意してご使用いただき、障害などが発生した場合には、本機のワイヤレス機能を使用しないようにしてください。

また、緊急の場合には、ただちにACアダプターをコンセントから抜いてください。

- 病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは使用しない。

電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

- 本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ただちに使用をやめる。

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

通電中のACアダプターや製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。



禁止

本機を医療機器の近くで使わない

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。医療機関の屋内では使わないでください。



注意

本機を心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。



禁止

本機を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



プラグをコンセントから抜く

長時間使用しないときはACアダプターを抜く

長時間使用しないときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、ACアダプターを抜くACアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



禁止

付属の電源コードについて

付属の電源コードは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。



禁止

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。



指示

本機は、国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大げがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 危険

コイン型リチウム電池について

- (1) 電池は幼児の手の届かない所に置いてください。万一飲み込んだ場合、または飲み込んだ恐れがある場合には、直ちに医師と相談をしてください。
- (2) 充電、ショート、分解、変形、加熱、直射日光に当てる、火に入れるなどしないでください。この電池は、可燃性物質を内蔵しており、発火、発熱、破裂の原因となります。
- (3) 電池を廃棄する場合および保存する場合には、テープなどで絶縁してください。他の金属や電池とまざると発火、破裂の原因となります。

使用上のご注意

安全について

- ・付属の AC アダプターをお使いになるときは、家庭用電源コンセント (AC100V) につないでお使いください。

AC アダプターについて

- ・AC アダプターをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、必ず電源プラグを持って抜いてください。
- ・この製品には、付属の AC アダプター (極性統一形プラグ・JEITA 規格) をご使用ください。付属以外の AC アダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
- ・付属の AC アダプターは本機専用です。他の機器ではご使用になれません。
- ・本機および AC アダプターを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。

温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

取り扱いについて

- ・スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などはしないでください。
- ・次のような場所には置かないでください。
 - 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、温度の高い所
 - 窓を閉め切った自動車内 (特に夏季)
 - 風呂場など、湿気の多い所
 - ほこりの多い所、砂地の上
 - 時計、キャッシュカードなどの近く (録音済みテープや時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなどは、本機に近づけないでください。)
 - 激しい振動のある所
- ・平らな場所に設置してください。
- ・設置条件によっては、倒れたり落下したりすることがあります。貴重品などを近くに置かないでください。
- ・持ち運ぶ際、フロッピーディスクやクレジットカードなど磁気の影響を受ける物は、本機の近くに置かないでください。

- ・枠が汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。
- ・水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。

その他のご注意

- ・疑問点や問題点がある場合は、もう一度この取扱説明書をよく読んでから、お客様相談室またはお買い上げ店にご相談ください。
- ・本機を廃棄するまたは譲渡する際は、ユーザー情報などを消去するために初期化を実行して本機をお買い上げ時の状態に戻してください (23 ページ)。

商標について

- ・N-Mark は米国およびその他の国における NFC Forum, Inc. の商標または登録商標です。
- ・BLUETOOTH® ワードマーク と ロゴ は、Bluetooth SIG, Inc. の所有であり、セイコークロック株式会社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- ・Google Play および Google Play ロゴは、Google Inc. の商標です。
- ・Apple および Apple ロゴは米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- ・その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービ名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™ マークは明記していません。

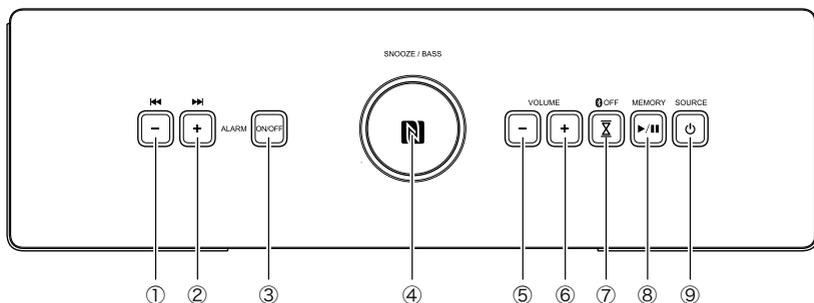
準備する

付属品を確認する

- ・取扱説明書（本書） 1冊
- ・保証書 1枚
- ・コイン型リチウム電池 1個
- ・専用 AC アダプター
- ・専用 FM アンテナ

各部の名前と機能

■上面



① 選曲/選局 - ボタン

- ・音楽の再生中は、曲の先頭または前の曲から再生します。長押しすると早送りします。
- ・ラジオの再生中は、チューニングします。長押しすると自動サーチします。
- ・アラーム時刻を設定します。

② 選曲/選局 + ボタン

- ・音楽の再生中は、次の曲から再生します。長押しすると早送りします。
- ・ラジオの再生中は、チューニングします。長押しすると自動サーチします。
- ・アラーム時刻を設定します。

③ ALARM / ON/OFF ボタン

- ・アラームを ON/OFF します。
- ・アラーム時刻設定モードにします。

④ SNOOZE / BASS ボタン / N-Mark

- ・アラーム音鳴動中は、アラーム音を止めて一定時間後に鳴らします。
- ・音楽の再生中は、低音強調モードになります。
- ・おサイフケータイ機能（「NFC (FeliCa)」）対応のスマートフォンなら、このマークにスマートフォンをタッチすると、自動的に本機の電源が入り、ペアリング（機器登録）や Bluetooth 接続 / 切断ができます。

⑤ VOLUME- ボタン

- ・音量を小さくします。

⑥ VOLUME+ ボタン

- ・音量を大きくします。

⑦ SLEEP / Bluetooth ボタン

- ・スリープモードを設定します。
- ・Bluetooth 機器と切断します。

⑧ MEMORY / 再生 / 一時停止ボタン

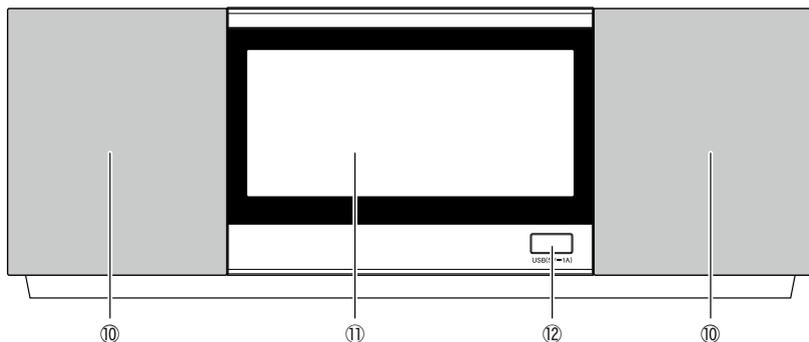
- ・音楽を再生 / 一時停止します。
- ・FM ラジオ局を登録します。

⑨ SOURCE ボタン

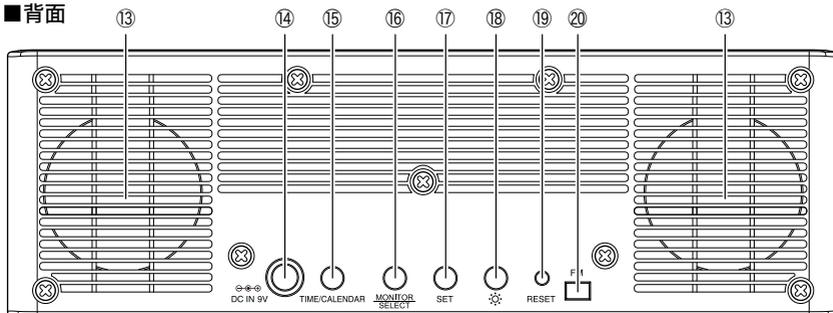
- ・再生ソースを切り替えます。
- ・長押しするとスタンバイモードになります。

表示	再生ソース
 ←	Bluetooth 対応機器と接続することで音源を再生できます。
↓ 	USB メモリに入った音楽ファイルを再生できません (MP3、WMA)。
↓ 	FM ラジオ (ステレオ) を鳴らします。
↓ 	FM ラジオ (モノラル) を鳴らします。
↓ 	快眠アシスト (心地よいサウンド) で眠りに誘います。

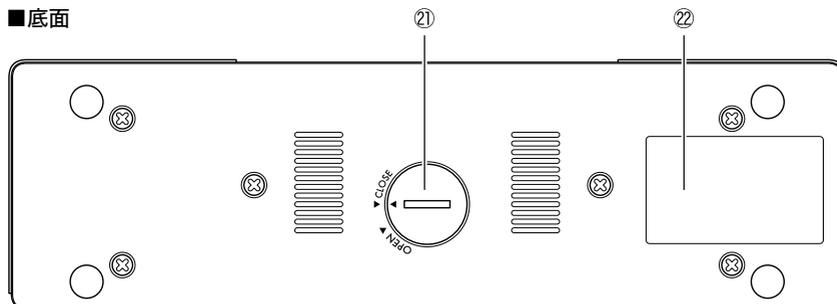
■正面



■背面



■底面



⑩スピーカー

⑪液晶表示
時刻や本機の状態を表示します (9 ページ)。

⑫USB 端子

- ・ USB メモリを接続して音楽を再生します (スマートフォンやポータブルプレーヤーを接続しての音楽再生はできません)。
- ・ スマートフォンなどを接続して充電します。

⑬パッシブラジオター

⑭ DC IN 9V (電源) 端子
AC アダプターを接続します。

⑮ TIME/CALENDAR ボタン

画面表示を時刻または日付に切り替えます。

⑯ MONITOR/SELECT ボタン

アラーム音を選択します。

⑰ SET ボタン

日時をセットする際に使用します。

⑱明るさボタン

画面の明るさを 3 段階に調整します。

⑲ RESET ボタン

本機をリセットします。

⑳ FM アンテナ端子

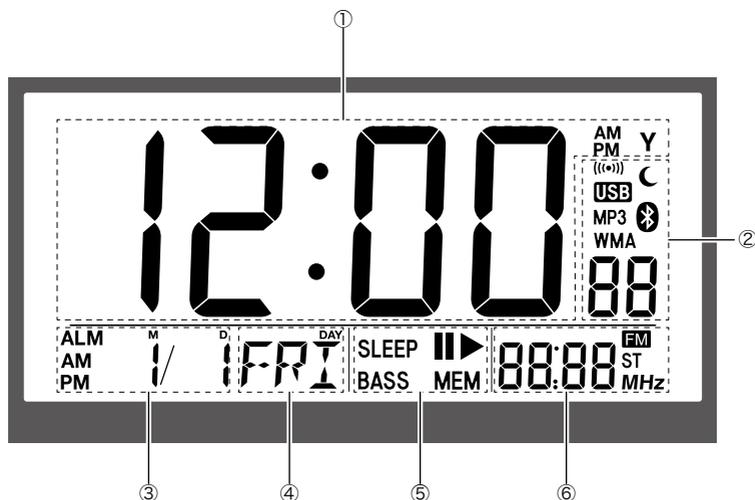
FM アンテナを接続します。

㉑電池室

コイン型電池を入れます。

㉒機銘板

液晶表示について



①日時

- 現在の時刻または日付が表示されます。
- ・ AM / PM : 12 時間表示の時に表示されます。
 - ・ Y : 日時のセットで、年を設定中に表示されます。

②ステータスアイコン

- 本機の状態をアイコン表示します。
- ・ (()) : アラーム設定時に表示されます。
 - ・ ☾ : 快眠アシストモード時に表示されます。
 - ・ USB : USB モード中に表示されます。
 - ・ MP3 : MP3 形式の音楽選択中に表示されます。
 - ・ WMA : WMA 形式の音楽選択中に表示されます。
 - ・ Bluetooth : Bluetooth モード中に表示されます。
 - ・ 秒表示 : 現在時刻の秒が表示されます。

③アラーム時刻

- アラーム設定時刻が表示されます。
アラーム OFF の時は、時刻 / 日付が表示されます。

④曜日

- 曜日が表示されます。

⑤ステータス表示

- 本機の状態を表示します。
- ・ SLEEP : SLEEP モード中に表示されます。
 - ・ 再生 / 一時停止 : USB モードで音楽再生中 / 一時停止中に表示されます。
 - ・ BASS : 低音強調モード中に表示されます。
 - ・ MEM : FM ラジオ局登録中に表示されます。

⑥ FM チャンネル / 経過時間

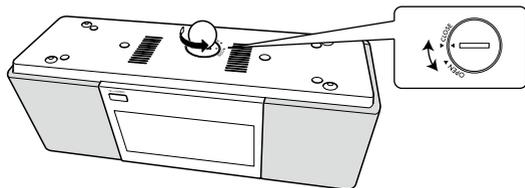
- ・ FM ラジオ局のチャンネル / 周波数を表示します。
- ・ USB の音楽の経過時間を表示します。

電池を入れる

本機にバックアップ用のコイン型電池を入れます。

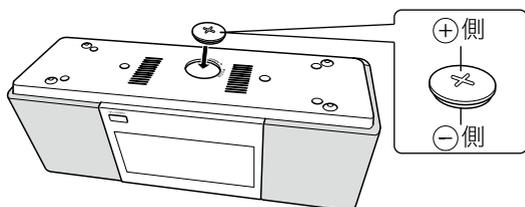
1 底面の電池室ふたを開ける。

硬貨などを使って電池室ふたを OPEN の位置にする。



2 コイン型電池を入れる。

電池の向きを間違えないように注意してください。



3 電池室ふたを閉める。

硬貨などを使って電池室ふたを CLOSE の位置にします。

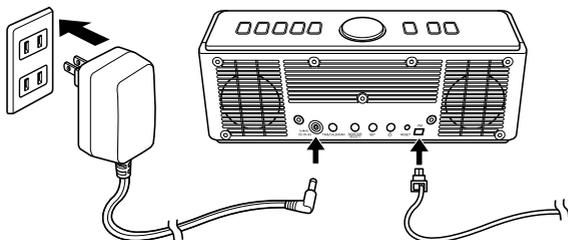
接続する

本機を電源に接続します。また、FM アンテナを接続します。

1 DC IN 9V (電源) 端子に AC アダプターを接続する。

2 コンセントに AC アダプターを接続する。

3 FM アンテナ端子に FM アンテナを接続する。



4 背面の ボタンを押す。

時計が 12:00 から動き始めます。

時刻を設定する

本機で設定する

本機の時刻を設定します。背面および上面のボタンを使って、本機で設定します。

- 1 背面の  ボタンを長押しする。

「年」表示が点滅します。

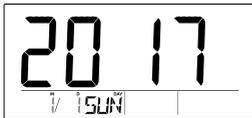
- 2  ボタンまたは  ボタンを押して、現在の「年」に合わせる。



- 3 背面の  ボタンを押す。

「日付」表示が点滅します。

- 4  ボタンまたは  ボタンを押して、現在の「日付」に合わせる。



- 5 背面の  ボタンを押す。

「時刻」表示が点滅します。

- 6  ボタンまたは  ボタンを押して、現在の「時刻」に合わせる。



- 7 背面の  ボタンを押す。

「12H」が点滅します。

- 8  ボタンまたは  ボタンを押して、12 時間制または 24 時間制の表示を選択する。



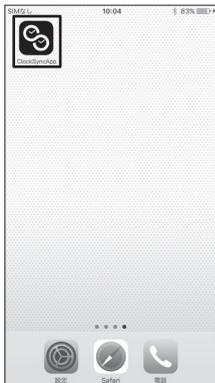
- 9 背面の  ボタンを押し、時刻設定を終了する。

スマートフォンを使って設定する

■ ClockSyncApp で設定する

ClockSyncApp は、本機の時刻をスマートフォンの時刻と同期させるアプリです。あらかじめ、お使いのスマートフォンにインストールします。

- 1 スマートフォンで Play ストアまたは App Store にアクセスする。
- 2 「ClockSyncApp」をキーワード検索して、お使いのスマートフォンにインストールする。
- 3 スマートフォンで ClockSyncApp を起動する。



- 4  をタップする。

「時刻同期成功」と表示され、本機の時刻が設定されます。



お知らせ

- ・同期に成功すると、 が白く表示されます。失敗した場合はグレーのまま表示されます。

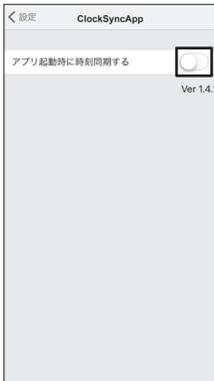
■アプリ起動時に自動的に時刻同期するには

5 をタップする。

本機の時刻と同期する前は、がグレーで表示されます。



6 「アプリ起動時に時刻同期する」の をタップしてオンにする。



お知らせ

・あらかじめスマートフォンの Bluetooth 機能はオンにしてください。

音楽を聴く

ワイヤレスで再生する

スマートフォンなど Bluetooth 機器を本機にワイヤレス接続し、音楽を再生します。本機と Bluetooth 機器の接続方法は、ペアリングと NFC 接続の 2 つがあります。NFC 対応機器は、ワンタッチで本機と接続できます。NFC 非対応の機器は本機を機器登録（ペアリング）して接続します。

お知らせ

- ・ワイヤレスで再生するときは、本機と Bluetooth 機器は 10m 以上離さないください。
- ・本機は Bluetooth 機器を 3 台まで接続できます。ただし、音楽を再生できるのは 1 台のみです。また、4 台目の Bluetooth 機器を接続すると、最初の接続は解除されます。
- ・一度ペアリングすると、以降は自動で接続され、再度ペアリングする必要はありません。ただし、以下の場合には再度ペアリングしてください。
 - 本機の初期化や修理などでペアリング情報が消えた場合
 - 接続相手の機器のペアリング情報が消えた場合

Bluetooth で接続する

Bluetooth 機器の音楽を本機で再生できるようにペアリングします。

1  ボタンを繰り返し押し続けて Bluetooth モードにする。

画面に「」が表示されるまで  ボタンを押します。

2 Bluetooth 機器でペアリング操作を行い、本機を検索する。

Bluetooth 機器の画面に「SS501K SEIKO」と表示されます。表示されない場合は手順 1 からやり直してください。

・「SS501K」の表示は、お使いの機器によって変わります。ここでは例として「SS501K」を表示しています。

3 Bluetooth 機器で「SS501K SEIKO」を選択する。

画面の「」が点灯表示に変わり、本機と Bluetooth 機器が接続されます。パスコードを要求された場合は、「0000」を入力してください。

お知らせ

- ・接続を解除するときは、画面の「」が点滅するまで、 ボタンを長押しします。
- ・Bluetooth 機器の操作については、Bluetooth 機器の取扱説明書を参照してください。
- ・一部の Bluetooth 機器では、上記の手順に対応していない場合があります。

- ・ペアリング操作は本機と Bluetooth 機器を 1m 以内において行ってください。
- ・パスコードは、パスキー、PIN コード、PIN ナンバー、パスワードと呼ばれることもあります。
- ・Bluetooth スタンバイモードにしておくと、本機と Bluetooth 機器が接続されると自動で Bluetooth モードになります。
- ・本機が複数台設置された環境でペアリング操作を行うと、Bluetooth 機器の画面に「SS501K」などが複数表示されます。いずれかが接続され、本機のうちのどれかを特定して接続することはできません。

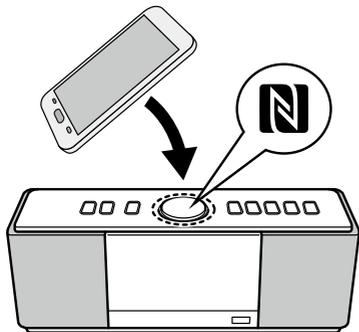
Bluetooth で接続する (NFC 接続)

NFC 対応のスマートフォンの場合は、本機の  N-Mark にタッチして接続します。

1 スマートフォンの N-Mark を本機の N-Mark にタッチする。

スマートフォンが反応するまでタッチし続けてください。

スマートフォンの  N-Mark 位置は、お使いのスマートフォンの取扱説明書を参照してください。



2 スマートフォンの画面の指示に従って、スマートフォンを操作する。

スマートフォンの表示に従って接続を完了してください。

お知らせ

- ・NFC とは、携帯電話や IC タグなどさまざまな機器間で近距離無線通信を行うための技術です。
- ・NFC 対応スマートフォンを本機にタッチするだけで、自動的に本機の電源が入り、ペアリング (機器登録)、Bluetooth 接続が行われます。
- ・あらかじめ、スマートフォンの NFC 機能をオンにして、画面のロックを解除してください。また、スマートフォンのエコモードを解除してください。
- ・接続を解除するときは、再度 Bluetooth 機器を本機の  N-Mark にタッチします。
- ・スマートフォンの  N-Mark は、機種によって位置が異なります。お使いのスマートフォンの N-Mark の位置を確認して、本機の  N-Mark にタッチしてください。
- ・iPhone など Apple 製品は、本機の NFC 機能に対応していません。

Bluetooth 機器の音楽を再生する

ワイヤレス接続した Bluetooth 機器の音楽を再生します。

- 1  ボタンを繰り返し押し続けて Bluetooth モードにする。
画面に「」が表示されるまで  ボタンを押します。
- 2 接続した Bluetooth 機器の音楽を再生する。
本機から Bluetooth 機器の音楽が再生されます。
再生中は本機のボタンで選曲などの操作ができます（7 ページ）。
Bluetooth 機器の音楽を止めるには、 ボタンを長押しします。

USB メモリの音楽を再生する

本機の USB 端子に接続した USB メモリの音楽を再生します。

- 1  ボタンを繰り返し押し続けて USB モードにする。
画面に「**USB**」が表示されるまで  ボタンを押します。
- 2 本機の USB 端子に USB メモリを接続する。
対応する全ファイル数が表示されます。 ボタンまたは  ボタンでファイルを選択します。
- 3  ボタンを押す。
本機から USB メモリの音楽が順番に再生されます。
再生中は本機のボタンで選曲などの操作ができます（7 ページ）。
USB メモリの音楽を止めるには、 ボタンを長押しします。

お知らせ

- ・本機に対応する USB メモリは FAT32 および FAT16 形式です。ただし、この形式のすべての USB メモリの動作を保証するものではありません。
- ・本機で再生できる音楽ファイルは MP3 および WMA です。
- ・USB メモリは USB ケーブルや USB ハブを経由せず、直接本機の USB 端子に接続してください。
- ・弊社は USB メモリ使用時に発生した、いかなるデータの損失に対しても責任を負いません。
- ・USB 接続の HDD は使用できません。

ラジオを聴く

ラジオを鳴らす

FM ラジオを鳴らします。

- 1  ボタンを繰り返し押し続けてラジオモードにする。
画面に「**FM**」が表示されるまで  ボタンを押します。
- 2 自動サーチで選局する。
 ボタンまたは  ボタンを押して、FM 局を選択します。
 ボタンまたは  ボタンを長押しすると、自動サーチが始まり、FM 局が見つかったらサーチが停止します。自動サーチを途中で中止する場合は、再度  ボタンまたは  ボタンを押します。
再生中は本機のボタンで音量調節などの操作ができます（7 ページ）。
ラジオを止めるには、 ボタンを長押しします。

お知らせ

- ・電波が弱い場合は、画面の「ST」が消えるまで SOURCE / 電源ボタンを押して、モノラルにしてください。雑音が減少します。

FM 局を登録する

本機は 10 局まで FM 局を登録できます。

- 1 登録する FM 局を鳴らします（上記）。
- 2  ボタンを長押しする。
登録モードになります。
- 3 7 秒以内に  ボタンまたは  ボタンを押して、登録するチャンネル番号を選択する。
- 4 7 秒以内に  ボタンを押す。
選択したチャンネルに FM 局が登録されます。
他の FM 局を登録する場合は、手順 1～4 を繰り返して別のチャンネルに登録します。

登録した FM 局を呼び出す

- 1  ボタンを押し、 ボタンまたは  ボタンを押して、チャンネルを選択する。

快眠アシストモードにする

オリジナルサウンドを再生する

快眠アシストモードは、心地よい眠りへと導くオリジナルサウンドを再生するモードです。

1  ボタンを繰り返し押し続けて快眠アシストモードにする。

画面に「」が表示されるまで  ボタンを押します。

快眠アシストモードを止めるには、 ボタンを長押しします。

アラーム

アラームを設定する

1 ボタンを押す。

アラーム時刻が点滅表示し、アラームの時刻合わせの状態になります。



2 ボタンまたは ボタンを押して、アラーム時刻を合わせる。

- ・アラーム時刻合わせの状態でも再度  ボタンまたは  ボタンを押し続けると早送りします。
- ・約 5 秒間押されない状態が続くと、自動的にアラーム時刻が確定します。

3 ボタンを長押しする。

- ・アラームマーク ((●)) が点灯します。
- ・「ALM」とアラーム時刻が表示され、アラーム時刻になるとアラームが鳴ります。



アラーム音の設定

アラーム音は、メロディ 1～3、USB メモリの音楽、FM ラジオのいずれかを選択できます。

1 ボタンを長押ししてスタンバイモードにする。

画面に「」や「**FM**」など、再生ソースが消えるまで  ボタンを長押しします。

2 背面の ボタンを長押しする。

アラーム音が流れ、選択されたアラーム音が表示されます。

3 アラーム音再生中に ボタンまたは ボタンを押し、アラーム音量を設定する。

4 背面の ボタンを押す。

アラーム音が止まります。

最後に流れた音楽がアラーム音として設定されます。

手順 2～4 を繰り返して、アラーム音を選択します。アラーム音は、以下の順に切り替わります。ただし、USB メモリが取り付けられていない場合は USB メモリは選択されません。

内蔵メロディ 1 → 2 → 3 → FM ラジオ → USB メモリ



お知らせ

- ・USB メモリをアラーム音に設定時、本機に USB メモリが取り付けられていない、または USB メモリに再生できる音楽がない場合は、内蔵メロディ 1 が鳴ります。

設定時刻になったら

設定したアラーム音・音量でアラームが鳴ります。

アラームを止めるには 2 通りの方法があります。

アラームを完全に止める

1 ボタンを長押しする。

アラームマーク ((●)) が消えます。

約 5 分後に再度アラームを鳴らす (スヌーズ機能)

1 ボタンを押す。

- ・アラームが止まり、約 5 分後に再び鳴り出します。
- ・スヌーズ中はアラームマーク ((●)) が点滅します。
- ・アラームは約 5 分間で自動的に止まります。(オートストップ機能)
- ・この場合、アラームマーク ((●)) は表示されたままとなり、翌日のアラーム時刻に再びアラームが鳴ります。

お知らせ

- ・以下の場合は、設定したアラーム音の鳴り始めに「ピッピッピッ」と電子音が鳴ります。
 - FM ラジオをアラーム音にし、FM ラジオ再生中にアラーム時刻になった場合
 - USB メモリの音楽をアラーム音にし、USB メモリの音楽を再生中にアラーム時刻になった場合

その他の機能

スリープ機能

Bluetooth モード、USB モード、FM ラジオモード、快眠アシストモードで  ボタンを押すと自動的にスタンバイモードに戻る時間を設定できます。

 ボタンを押すたびに以下の順に時間を設定できます。
120 (分) → 90 → 60 → 45 → 30 → 15 → OFF

USB 充電機能

USB 端子に接続してスマートフォン等に充電することができます。

・iPhone 等の Apple 製品への充電はできません。また、機器によっては充電できない場合もあります。

明るさ調整機能

背面の  ボタンで表示の明るさを 3 段階に調整することができます。

BASS モード

 ボタンを押すと、低音を強調する BASS モードに切り替えることができます。BASS モード中は、「BASS」が表示されます。

表示切替機能

背面の  ボタンを押すたびに表示が時刻 ↔ 日付に切り替わります。

トラブルシューティング

修理を依頼する前に、下記の項目をご確認ください。

症状	原因
■ NFC	
NFC 対応機器を本機の N-Mark にかざしても、本機と Bluetooth 接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・お使いの機器の NFC 機能がオフになっている。 ・お使いの機器がスリープモードになっている。 ・iPhone など Apple 製品では使用できません。
■ Bluetooth	
音楽が聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"> ・本機と Bluetooth 機器が離れすぎている。10m 以内でご使用ください。 ・本機と Bluetooth 機器がペアリングされていない。 ・本機または再生機器の音量が小さくなっている。
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> ・強い電磁波を発生する機器が近くにある。本機を離してご使用ください。 ・本機と Bluetooth 機器の間に障害がある。本機と Bluetooth 機器を近づけてください。
■ ラジオ	
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビやパソコンが近くにある。本機を離してご使用ください。 ・FM アンテナが正しく接続されていない。FM アンテナは、電源コードからできるだけ離してください。
■ USB	
USB メモリが認識されない。 USB メモリの音楽が再生されない。	<ul style="list-style-type: none"> ・USB メモリに MP3 形式または WMA 形式の音楽が保存されていない。 ・USB メモリのファイルシステムが適合していない。 ・USB メモリがしっかりと接続されていない。 ・ポータブルプレーヤーが接続されている。 ・本機非対応のファイル形式の音楽のみが保存されている。 ・著作権保護された音楽が保存されている。
正しい再生時間が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ・可変ビットレートの音楽ファイルが再生されている。
■ その他	
正しい時刻が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ・バックアップ電池がない状態で停電が起きました。再度時刻を合わせてください。
表示が正しく出ない。 ボタンを押しても反応しない。	<ul style="list-style-type: none"> ・AC アダプターを入れなおしてください。 ・本機をリセットしてください。
音楽が聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"> ・音量が小さくなっている。音量を調節してください。

誤動作が起こったときは

強い衝撃や雷などで誤動作が生じる場合は、以下の手順を行ってください。

1 ACアダプターを外し、再度ACアダプターを接続する。

工場出荷状態に初期化する（リセット）

本機の情報进行を消去します。

1 ボタンを押す。

時計が 12:00 から動き始めます。

お知らせ

- ・リセットすると、時刻、アラーム、FM ラジオの登録、Bluetooth 接続情報を含めて、本機の情報すべて消去されます。

Bluetooth 機器について

機器認定について

本機は電波法に基づく小電力データ通信システムの設備として認証を受けています。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- ・本機を分解／改造すること

周波数について

本機は 2.4GHz 帯の 2.402GHz から 2.480GHz まで使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、次の事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、お客様相談室までお問い合わせください。お客様相談室については、本書裏表紙をご覧ください。

 24FH1

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 10m です。

Bluetooth 無線技術について

Bluetooth 無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ 10m 程度までの距離で通信を行うことができます。必要に応じて 2 つの機器をつなげて使うのが一般的な使い方ですが、1 つの機器に同時に複数の機器をつなげて使うこともあります。

無線技術によって USB のように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。

Bluetooth 標準規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中の様々なメーカーの製品で採用されています。

Bluetooth 機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、Bluetooth 機器の特性ごとに機能を標準化したものです。本機は下記の Bluetooth バージョンとプロファイルに対応しています。

対応 Bluetooth バージョン：

- ・Bluetooth 標準規格 Ver. 2.1

対応 Bluetooth プロファイル：

- ・A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
高音質な音楽コンテンツを送受信する
- ・AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)
音量の大小を操作する

通信有効範囲

見通し距離で約 10m 以内で使用してください。以下の状況においては、通信有効範囲が短くなることがあります。

- ・Bluetooth 接続している機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
- ・無線 LAN が構築されている場所
- ・電子レンジを使用中の周辺
- ・その他の電磁波が発生している場所

他機器からの影響

Bluetooth 機器と無線 LAN (IEEE802.11b/g/n) は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、無線 LAN を搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- ・本機と Bluetooth 機器を接続するときは、無線 LAN から 10m 以上離れたところで行う。
- ・10m 以内で使用する場合は、無線 LAN の電源を切る。

他機器への影響

Bluetooth 機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機および Bluetooth 機器の電源を切ってください。

- ・病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- ・自動ドアや火災報知機の近く

ご注意

- ・Bluetooth 機能を使うには、相手側 Bluetooth 機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、Bluetooth 機器の仕様により機能が異なる場合があります。
- ・Bluetooth 無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、本機側での再生がわずかに遅れます。
- ・本機は、Bluetooth 無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth 無線通信を行う際はご注意ください。
- ・Bluetooth 技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本機と接続する Bluetooth 機器は、Bluetooth SIG の定める Bluetooth 標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、Bluetooth 標準規格に適合していても、Bluetooth 機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- ・本機と接続する Bluetooth 機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。

主な仕様

時計部

使用温度範囲：5°C～35°C（表示判読可能範囲：0°C～40°C）

時間精度：平均月差±30秒（気温5～35°Cで使用した場合）

アラーム：オリジナルメロディ（1・2・3）、USB、FMラジオから選択
約5分間オートストップおよび約5分間スヌーズ（スヌーズは何回でも繰り返すことができます）

カレンダー：2000～2099年対応

表示切替：時刻／カレンダー切替

停電保証電池：コイン型リチウム電池（CR2032）1個
電池駆動時間：約5か月（時計情報のみ）

スピーカー部

使用スピーカー

- ・フルレンジスピーカー：約52mm（直径）×2
- ・パッシブラジエーター：約57mm（直径）×2

アンプ部

実用最大出力：10W（5W + 5W）

チューナー部

周波数：FM 76.0MHz～95.0MHz

プリセット：10

Bluetooth部

使用周波数帯域

- ・2.4GHz帯（2.402GHz～2.480GHz）

通信方式

- ・Bluetooth v2.1+EDR
- ・Bluetooth v4.0（Time Profile）

対応プロファイル

- ・A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）
- ・AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）

USB (MP3 / WMA)

USB ホストインターフェース : USB1.1 (Full Speed)、USB2.0 マスストレージクラス準拠
対応ファイル形式 : MP3 (32kbps ~ 320kbps)、WMA (64kbps ~ 160kbps DRM 非対応)
最大ファイル数 : 999
ID3TAG : 非対応
ファイルシステム : FAT16 / FAT32

その他

電源

・ AC100V、50Hz / 60Hz

消費電力

・ 再生中 : 約 11W

・ スタンバイモード : 約 2W 以下 (Bluetooth スタンバイ機能 ON)

外形寸法 (幅×高さ×奥行き) : 280mm × 100mm × 90mm

質量 : 約 1.3kg

保証とアフターサービス

- ・この時計はメーカー保証です。
保証の内容については付属の保証書をご覧ください。なお、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも日本国内のみの対応となります。
- ・保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、販売店がお預かりし、メーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名が捺印された保証書を添えてご依頼ください。
- ・保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品、および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- ・この時計の修理用部品は、製造終了後3年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは、製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。なお、修理可能な期間は、ご使用条件により異なります。また、修理可能な場合でも、元どおりの精度とならない場合があります。販売店とよくご相談ください。
- ・修理の際、部品・その他の付属品は、一部代替部品または再生品を使用させていただくことがありますので、ご了承ください。
- ・保証期間外、または無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、販売店と修理工場との間の往復運賃など、諸費用をお客様にご負担いただきます。なお、修理代金が標準小売価格を上回る場合があります。あらかじめご承知ください。
- ・保証期間中・経過後ともに、修理を依頼されるときは本製品を販売店にご持参ください。
- ・お客様が本製品を分解されると、修理不可能となる場合があります。また、保証の対象外となりますので、ご注意ください。
- ・ご不明な点は、お客様相談室にお問い合わせください。

この取扱説明書の内容は、将来予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
この時計によって生じた、いかなる支出、損益、その他の損失に対して、弊社は一切の責任を負いません。
この取扱説明書の内容の一部またはすべてを、製造者の許可なく転載・変更・複製することは禁じられています。

本製品、またはアフターサービスなどにつきましてご不明な点がございましたら、製品本体底面に表示してあります製品番号（MODEL）をご確認のうえ、セイコークロック（株）お客様相談室にお問い合わせください。

お客様相談室 0120-315-474

<http://www.seiko-clock.co.jp>

発売元

セイコークロック株式会社